

第4回 Destination Therapy (DT) 研究会 プログラム (案)

【DT 終末期の対応を考える】

- 11:00~11:05 第一部 開会の辞
- 11:05~12:00 セッション1 : ポスター
- ① 自己管理指導の工夫 (仮題) 1 演題 発表5分, 討論2分 x 6 座長
 - ② 社会復帰を目指した対応 (仮題) 1 演題 発表5分, 討論2分 x 6 座長
 - ③ 合併症発生時の対応 (仮題) 1 演題 発表5分, 討論2分 x 6 座長
- 12:00~13:15 休憩
- 13:15~13:20 第二部 開会の辞
- 13:20~14:00 セッション2 基調講演
- 「DTにおける植込み型VAD挿入手術の工夫, 弁膜症への対応」(仮題) 40分
Dr. Walter Dembitsky (Sharp Memorial Hospital)
- 14:00~14:55 セッション2 「DTの終末期の対応を考える」特別講演
- アンケート結果総評: DT研究会事務局 10分
大阪大学大学院 戸田宏一先生
- 特別講演1: 「事前指示書に必要なことと終末期の合法的対応策」(仮題) 15分
日本医事法学会代表理事 手嶋豊先生 (神戸大学大学院法学研究科教授)
- 特別講演2: 「終末期の延命治療の不開始, 中止はどこまで許容されるか」(仮題) 15分
日本尊厳死協会副理事 長尾和宏先生 (医療法人社団 裕和会理事長)
- 特別講演3: 「ガイドライン作成にあたり終末期医療への対応をどのように考えたか」(仮題) 15分
日本蘇生協議会代表理事 野々木宏先生 (静岡県立総合病院院長代理)
- 14:55~15:05 休憩
- 15:05~15:45 セッション2 「DTの終末期の対応を考える」パネルディスカッション (Case study) 40分
- パネリスト:
- 日本医事法学会代表理事 手嶋豊先生 (神戸大学大学院法学研究科教授)
 - 日本尊厳死協会副理事 長尾和宏先生 (医療法人社団 裕和会理事長)
 - 日本蘇生協議会代表理事 野々木宏先生 (静岡県立総合病院院長代理)
 - DT治験参加施設各1名 (東北大学, 東京大学, 千葉大学, 大阪大学, 国立循環器病研究センター, 九州大学, 東京医科歯科大学)
- 15:45~16:25 セッション3 : 一般口演「BTTとDTの相違と工夫」(案)
- 1 演題 発表5分, 質疑応答3分 x 5 演題
- 16:25~16:30 閉会の辞